

2023年度 沼津市審判委員会努力目標

【主審】…ハンドリングについて

- ドリブルの判定…吹笛できていないケースあり

明らかに(誰が見ても)ハンドリングのバラつきがあるものは反則とする。
※ただし、プレーする際の体勢などに惑わされず、ボールと指・手の接触を見て判定する。

- ホールディングの判定…厳しい判定となっているケースあり

明らかにヒットしているにも関わらず、ホールディングの反則としている。特に、ブロッカーが吸い込んだボールを上げるプレーは、ボールと手の接触をよく見て判定する。

【副審】…ラリー中の主審の補佐について

- 明らかなブロッカーのワンタッチ…不要な補佐が多く出ている。
- 補佐をするタイミング…目が合っていないときに出ている。

【主審・副審の協働】…試合の中断の要求への対応

- タイムアウトの要求…見逃してサービス許可の吹笛をしてしまうケースあり
タイムアウトの要求の見逃しは、絶対にあってはならない。

※タイムアウトを要求できるタイミングは、ボールデッドからサービス許可の吹笛までである。したがって、主審はサービス許可の吹笛までは、両チームの監督から要求が出ていないか確認しなくてはならない。また、ボールデッドからサービス許可の吹笛までのルーティーンの中で確認すべきことを再認識するようにする。

沼津市バレーボール協会 審判委員会